

議 事 録

件 名	第 32 回防犯対策委員会	
日 時	令和 8 年 6 月 29 日（金） 14:00～15:00	
場 所	市庁舎 3 階 307 会議室	
出席者	委 員	山口委員長、丸山副委員長、永田委員、上野委員、刈茅委員、内田委員、川嶋委員、星野委員、原委員、二本木委員、古賀（友）委員、新郷委員、神代委員
	事務局	安全安心推進課 柳補佐、石井主査、志方
欠 席 者	竹上委員、西田委員、江藤委員、江崎委員、古賀（三）委員、永野委員、物部委員	
傍 聴 者	なし	
次 第	1. 開会 2. 協議事項 （1） 2025(令和 7)年度取組実績及び 2026(令和 8)年度取組方針（案）について （2） 広報啓発活動について 3. その他 （1） 令和 8 年度セーフコミュニティ会議等スケジュール（案） （2） セーフコミュニティ標語の募集について 4. 閉会	
【質疑応答】	1. 開会 2. 協議事項 （1） 2025(令和 7)年度取組実績及び 2026(令和 8)年度取組方針（案）について	
委 員 ①	街頭防犯カメラ設置補助金について、年度初めは PTA の役員の交代等があり、それから話し合いが始まるとなると、6 月末の締め切りに間に合わない。締め切りを遅らせることはできないか。	
事 務 局	県の補助金を利用する関係で、この時期に締め切る必要がある。PTA の交代等があるとのことだが、前年度からの継続対応という形でご対応いただきたい。	
委 員 ①	分かりました。	
ワークショップ	※対策委員会でワークショップを行い、久留米市の防犯活動が抱える 2 つの課題解決のため、どのような取組みを行っていけばよいかアドバイスをいただいた。 【テーマ① ～SNS を悪用した詐欺の現役世代への周知～】 ・人が多く集まる場所での啓発を強化する	

- ・（現役世代が多く集まる）飲食店と協力して啓発を行う
- ・被害の大きさを前面に出した啓発を行う
- ・事例を共有し、同じ被害に遭わないよう注意喚起を行う
- ・企業への出前講座や研修等で啓発を行う
- ・学校を通して父母や祖父母に啓発を行う
- ・有名なインフルエンサーによる啓発を行う

【テーマ② ～防犯活動への参加者の拡大～】

- ・そもそも企業等に勤める人は、青色パトロールカーを見たことがない
- ・働いている人も参加できるよう、夜間パトロールを促進する
- ・運転できない人でも参加できる仕組みづくりを行う
- ・散歩やジョギング時の『ながら防犯』の推進（実施者に腕章等を渡しても良い）
- ・女性の参加者が少ないため、女性も安心して参加できる仕組みづくりを行う
- ・PTA に呼びかけ父母の参加を促進する
- ・企業と連携して、従業員の参加を促進する

（2）広報啓発活動について

質疑なし

3. その他

（1）令和8年度セーフコミュニティ会議等スケジュール（案）

質疑なし

（2）セーフコミュニティ標語の募集について

質疑なし

4. 閉会